

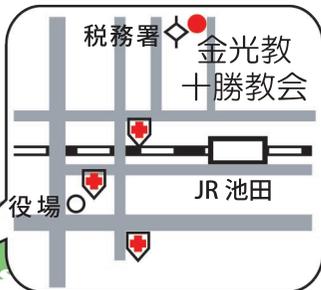
No.81, 2019, Apr.,

4 月・平成最後の天地金乃神大祭号

TEL 015-572-2322  
FAX 015-572-4213



Facebook 「金光教十勝教会」



金光教十勝教会  
〒083-0001  
池田町旭町 1-9

<http://city.hokkai.or.jp/~mtamaki/kyokai>

# 十勝教会 だより 81



facebook



HP(PC 専用)



金光教公式 HP

平成三十一年・天地金乃神大祭を迎えて  
「困ったときの神頼み」のその前に

「困ったときの神頼み」と言う言葉があります。神頼みということは神様に願いを叶えて貰おう、助けて貰おうということですが、つまりそれは、私のために神様に働いて貰おうということとです。まあ、金光教の教祖様も「神には何でも願え、願われるのが神の仕事である」と仰っているぐらいですから、神様に願い事をするのは悪いことではないのでしよう。

さて、はたして神様は私たちの願いを叶えるために働いてくれるのでしょうか？

その前に少し神様について考えてみましょう。

私たち金光教の神様は「天地金乃神」様といます。別名を「天地乃神」といい、文字通り天地の神様です。

太陽の光、大地に海、そこに空気があり雨が降り・・・私たちは天地があることで生きていくことができます。

でも人間にとつて必要だから天地があるという訳ではありません。そもそも天地は人間はおろか地球に生命が生まれる遙か前からあったのですから。

ただ、私たち生物にとつて都合がいいことに、朝になれば必ず陽が昇り、ちよつと探せば水があり、どんなに吸い続けても



どんなに寒い日が続くことがあっても、太陽が昇らない日はありませんよね。

空気が無くなるということはありません。

誰が頼んだわけでもないのに天地は私たちのいのちを支えてくれています。見方によっては、私たちのいのちを支えるために働いてくれているようにも思えます。

しかし、教祖様が「天地のこ  
とが人間でわかれば、潮の満ち  
引きも止められよう」と言っ  
ているように、そういった天地の  
働きは私たち人間の力でコン  
ロールすることはできません。

暑い日が続くので今日は太陽  
を出さないようにしようとか、  
寒いので今日は太陽に長めに  
出ているらおうとか、どう考  
えても不可能ですよ。地震や  
台風など自然災害もそうですが、  
天地は人間の自由にはなりませ  
ん。

そういうように天地は私たち  
人間にとって無くしてはならな  
いのですが、人間の都合のいい  
ようにできるものではありません。  
しかし、どういうわけか天地

は人間をはじめ生物が生きてい  
くにはちょうどいい具合に整  
えられています。そう、その  
天地を整えてくれる働きこそ  
天地金乃神様なのです。

「お天道様（太陽）のお照らしな  
さるのもおかげ、雨が降られる  
のもおかげ、人間はみなおかげ  
の中に生かされている」とは教  
祖様の御理解（説諭）ですが、  
朝に陽が昇るのも雨が降るのも  
神様のおかげ。つまり、神様が  
天地のいろいろな都合を整えて  
くれる。私たちは、神様が天地  
の働きを整えてくれたおかげで  
生きていくことができるという  
ことです。

天地金乃神様は私たちが願わ  
なくても、（結果的に）私たち  
のいのちを支えるために働いて

くれているのです（人間だけではなく、天地の中の全てのいのちを支えるためのお働きです）。

さてそこで、冒頭の「困ったときの神頼み」です。

天地金乃神様は私たちのために常に働いてくださっています。そこでさらに神様に働いていただこうというのですが、これはいかなるものでしょう。

そもそも、天地あつての私たち、その天地の働きを整えてくださる神様あつての私たちです。頼み事をするにしても、最低でもまずは一言「お礼」を言うのが筋ではないでしょうか。

神様が天地の働きを色々を整えてくださるのは、神様にも色々と考えや都合があつてのことでしょう。神様へのお礼とは、

その神様の願い、ご都合に叶つた生き方になることに他なりません。

そして神様は教祖様を通じ「おかげは和賀心わがこころにあり」という神様の願いに添った生き方になるための心がけを示してくださいました。まず何事にも和賀心わがこころ 喜ぶ心 礼の心にならせてもらうことを心がけ、その上で神様に願い事をしてみてはいかがでしょうか。



今年の十勝は雪解けが早く、日向では2月の終わりに福寿草が咲きましたが、とたんに寒の戻りで雪に覆われていました。

人間だけではなく野に咲く花にとっても天地の都合は自由にならないのですね。

道東地区教会連合会・交流会  
「神人あいよかけの生活運動」  
合同地区集会

9月7日（土）13時分30分～16時  
終了後17時から交流懇親会

連合会研修会・KONKO あれこれ塾  
「金光教の終活」

9月8日（日）9時～12時

どちらも会場は十勝教会です！

境内清掃の日 6月 8日（日）  
※雨天中止  
上半期感謝祭 6月30日（日）

関係教会大祭日程

釧路	5月26日	10月20日
北見	5月3日	11月3日
帯広	4月21日	11月10日
網走	5月19日	10月27日
滝上	4月28日	10月13日
夕張	4月29日	11月3日
函館	5月13日	11月13日

教会 日誌

平成31年1月1日から3月31日まで

1月1日 元日祭

1月3日 帯広市、M家、K家、A家、合同感謝祭。

1月3日 池田町、M家、感謝祭。

1月5日 士幌町、K家、感謝祭。

1月7日 薫別講社、年頭祭。

1月18日 札幌市、T家、(株)I社、(株)A社、(株)B社、合同感謝祭・交通安全祈願祭。

1月20日 北見市、S家、式年霊祭。

2月3日 信徒会総会、新年会。

3月8日 士別教会、葬儀式、教会長会葬。

3月21日 春季霊祭。

3月27日 池田町社会福祉協議会へ卓球台を寄贈しました。

写真 元日祭

今年はずらしく雪のないお正月でした。





写真右上下 薫別講社年頭祭。薫別講社も今年設立 99 年を迎えました。  
 写真左上下 春季霊祭。祭典の後は今年も皆でぼた餅をいただきました。



写真 信徒会総会後の新年会  
 今年は都合がつかない方が多く出席者は少なかったの  
 ですが、それでも賑やかで楽しい会になりました。

# 天地金乃神大祭次第

金光教十勝教会

・「神人の栄光」斉唱

一 祭員参向着席

一 拜 礼

一 神前拝詞奉唱

一 取次唱詞奉唱

一 祭主祭詞奏上

一 祭主玉串奉奠

一 天地書附奉体

一 参拝者代表玉串奉奠

一 神徳賛詞奉唱

一 拜 礼

一 祭員退下

一 吉備舞奉納「八千草」

○ 御神伝奉読・講師紹介

○ 教 話

講師 金光教北見教会長

矢代千春 先生



願 い

御取次を願い頂き

神のおかげにめざめ

お礼と喜びの生活を進め

神心となつて人を 祈り  
助け 導き

神人の道をあらわそう



KONKOKYO  
金 光 教

教会設立二〇〇年祭

二〇二〇年七月十二日

## ♪ 神人の栄光 ♪

一、<sup>あめつち</sup>天地は神のふところ  
<sup>ひと</sup>人はみな神のいと子  
<sup>めぐみ</sup>かぎりなき神徳のなかに  
<sup>い</sup>生かさるるわれ等うれしき

二、<sup>ひと</sup>人の世にとわの<sup>ひかり</sup>光を  
<sup>いと子</sup>いと子につきぬみかげを  
<sup>ちか</sup>誓わしし<sup>みおや</sup>教祖の<sup>かみ</sup>神に  
<sup>すく</sup>救わるるわれ等うれしき

## 食 前 訓

<sup>しょくもつ</sup>食物はみな人の命のために  
<sup>てんちのかみ</sup>天地乃神のつくり  
<sup>あたなま</sup>与え給うものぞ  
<sup>なに</sup>何を食うにも飲むにも  
<sup>いただ</sup>ありがたく頂<sup>こころ</sup>く心を忘れなよ

## 食 後 訓

<sup>たい</sup>体の<sup>じよふ</sup>丈夫を<sup>ねが</sup>願え  
<sup>たい</sup>体をつくれ  
<sup>なにごと</sup>何事も<sup>たい</sup>体が元なり